

平成26年度科学技術関係予算の重点化の仕組み

参考資料2

科学技術イノベーション予算戦略会議（第1回）資料

<基本的考え方>

- 総合科学技術会議は、科学技術イノベーション実現のための俯瞰的な目標を設定し、対象施策を特定。**対象施策への資源の重点配分を通じて、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据えた課題解決型の取組を強化し、当該年度の対象施策に係る予算の科学技術関係予算全体に占める比率が、前年度に比べて格段に高くなることを目指す。**
- あわせて、イノベーション環境創出に関する取組については、**これまでの取組等の効果を高め、組織や仕組みの改革推進とこれに必要な関連施策に重点化**する。
- 対象施策の特定の過程では、目標の効率的・効果的な達成の観点から、施策の重複排除等について指摘を行うとともに、関係府省の連携促進等について助言。
- 特定した対象施策、各府省の連携のあり方、重複排除の課題等についてとりまとめ、**財政当局に説明し、予算編成プロセスで活用。**

<予算重点化の仕組み>

科学技術イノベーションが取り組むべき課題 (科学技術イノベーション総合戦略【第2章】)

- クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現
- 国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現
- 世界に先駆け次世代インフラの整備
- 地域資源を‘強み’とした地域の再生
- 東日本大震災からの早期の復興再生

工程表
具体化

(7月)
平成26年度
アクションプ
ランとして
策定・公表

課題解決
に関する
重点化対象
の候補を
各省提案

(概算要求前)

総合科学技術会議が
○(課題解決)アクションプラン対象施策
○(環境創出)重点施策
として特定 **【予算の重点化対象】**

科学技術イノベーションに適した環境創出 (科学技術イノベーション総合戦略【第3章】)

- イノベーションの芽を育む
- イノベーション・システムを駆動する
- イノベーションを結実させる

環境創出に関する組織や仕組みの改革推進と
これに必要な重点化対象の候補を各省提案

- 国家的に重要な大規模研究開発のうち、新規要求分は、総合科学技術会議が評価を実施

(概算要求後)

総合科学技術会議が
大規模評価を実施し、
予算に反映。